

# エピソード26

## 子どものけんかを保護者に 伝えましたが…。



なみちゃん

小学校教師として25年以上の経験が  
あります。  
エデュサポネットのファシリテーターです。



小学校の中学年を担当していた時の  
経験をお聞きします。

しゅうくんは人と関わるのが大好きで、  
とても活発な男の子でした。でもトラブルも  
多く、しゅうくんの言動が原因で、友だちと  
ケンカになってしまうことがよくありました。

しゅうくんは、自分の非をなかなか  
認められず、謝ることができませんでした。





そんなしゅうくんの状態を、保護者には  
どのようにお知らせしたのですか。

保護者に連絡をしなければならないときは、  
お母さんに電話をして状況を話しました。

でもお母さんは「しゅうは悪くないと  
言っている。」としゅうくんの言うことを  
信じて、私の説明を聞いてくれません。





先生は、学級でトラブルが起きたとき、  
どのように対応していたのですか。

学級内のトラブルは、学級全体から話を  
聞いて事実を把握し、みんなで考えました。  
謝れたときには褒めることもしました。

するとしゅうくんも、自分が悪かった  
ときは、謝れるようになってきました。





先生は、しゅうくんのつぶやいた言葉で  
気になることがあったのですね。

しゅうくんは「お母さんは、僕の学校の様子をと  
とても気にしていて、僕が何かやると  
すごく怒るんだ。」と話してくれました。

しゅうくんは、お母さんの前では  
いい子でいなければならないと、  
がんばっているんだな…と思いました。





その後、しゅうくんの様子に  
変化はありましたか。

私が「よく謝れたね、けんかをして、  
仲直りができるとうれしいよね。」と  
話すと、笑顔で元気にうなずいていました。

そして「自分の言葉で、お母さんに話して  
ごらん。」と言いました。どう話したら  
いいか、私と練習することもありました。







トラブルを保護者に伝えるときに、  
気をつけたことを教えてください。

下校したしゅうくんが、家に着く前  
お母さんに電話をして、トラブルの  
状況を伝えるようにしました。

そして「しゅうくんは、自分の言葉で  
話すことができると思うので、聞いて  
あげてほしい。」とお願いしました。





保護者に、特に伝えなかった  
ことはありますか。

子どもたちは、けんかを通して学ぶことも  
たくさんあることを伝えました。

しゅうくんが、ちゃんと謝れて  
えらかったことも伝え「ほめてあげて  
くださいね。」とつけ加えました。







## なみちゃんの一言

- 小学校3・4年生といえは「ギャング・エイジ」と呼ばれるほど、元気で活発な時期です。トラブルが起ることも多いでしょう。
- 中にはトラブルに神経質な保護者もいますが、状況や解決までの過程をていねいに伝えることが大切です。
- 上手に解決できたことを伝え、安心してもらおうことも必要ですね。

お・し・ま・い



イラスト 尾上樹里  
(北海道教育大学 大学院生)